



令和6年度なはSDGs推進事業（多様なつながり地域づくり）

若狭地域における部活動の 地域移行を考える地域円卓会議

若狭地域で始める中学校の音楽系部活動の地域移行、
まずスタートを切るために必要な条件を考える

実施報告書

日 時： 2024年10月27日(日)14:00-17:00
場 所： 那覇市若狭公民館 3階ホール（沖縄県那覇市若狭2丁目12-1）
共 催： 一般社団法人 琉球フィルハーモニック、那覇市
企画運営： NPO 法人まちなか研究所わくわく
協 力： 公益財団法人みらいファンド沖縄

報告書作成
NPO 法人まちなか研究所わくわく
公益財団法人みらいファンド沖縄

【報告】若狭地域における部活動の地域移行を考える地域円卓会議



■日 時：2024年10月27日(日)14:00-17:00

■場 所：那覇市若狭公民館 3階ホール

(沖縄県那覇市若狭2丁目12-1)

■着席者数：9名(論点提供者、司会、記録者含む)

■参加者数：29名(学校関係者、校区まち協、自治会等)

■共 催：一般社団法人 琉球フィルハーモニック、
那覇市

■企画運営：NPO 法人まちなか研究所わくわく

■協 力：公益財団法人みらいファンド沖縄



若狭地域で始める中学校の音楽系部活動の地域移行、 まずスタートを切るために必要な条件を考える

論点提供 上原 正弘 氏(一般社団法人琉球フィルハーモニック 代表理事)

一般社団法人琉球フィルハーモニックは、「音楽と共にまちと響きあう」を理念に、オーケストラなどの音楽活動を通して地域づくりに関わり、ジュニアジャズオーケストラ等、若狭地域の子どもの居場所づくりも行っています。今回の円卓会議のテーマは、部活動の「地域移行」。これまで学校で持っていた部活動の機能の一部を地域で担うという、国内でもそのあり方に関して様々な議論がされている注目のテーマです。スポーツ系部活動が議論を引っ張っている中で、琉球フィルハーモニックは音楽系の部活動の地域移行のモデル作りに挑むべく、なは SDGs 推進助成事業に応募し採択されました。まだ議論が成熟していない今こそ、子どもたちの自主的で多様な学びの場である部活動の地域移行を始めるにあたっての課題共有をしていきたいと思えます。

センターメンバー



仲宗根 司

那覇市学校教育課
副参事



當間 保

与那原町立与那原
中学校 校長、
沖縄県音楽教育
研究会 会長



高橋 凛子

那覇市立
那覇中学校2年
吹奏楽部 部長



宮城 政也

琉球大学教育学部
教授



宮城 潤

那覇市若狭公民館
館長



溝井 洋輔

沖縄タイムス社
記者

若狭地域における 部活動の地域移行を考える 地域円卓会議

地域の困りごとと課題の共有・共有

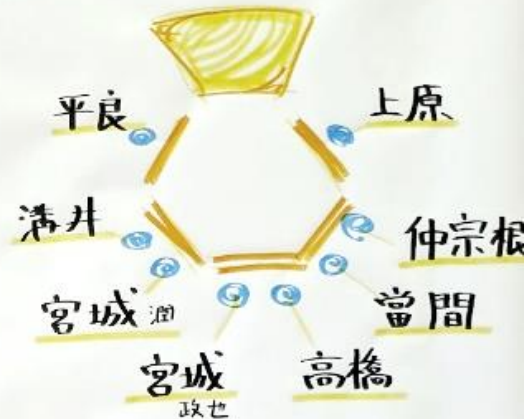
2024.10.27(日)

14:00 ~ 17:00

@那覇市若狭公民館 3Fホール

料50回

若狭地域で始める
中学校の音楽系部活動の
地域移行、
まずスタートを切るために
必要な条件を考える



令和6年度からはSDGs推進事業
～99様々なつながり地域マツリ～

共催 一般社団法人琉球フイルハーモニック、那覇市

企画運営 HPO法人まちなか研究所わくわく

協力 公益財団法人みらいファクト沖縄

論点提供



上原正弘 さん

一般社団法人琉球フイルハーモニック 代表理事

なはSDGs推進事業

① 那覇市における部活動の地域移行に関する
調査及びモデルケースへの模索

② 吹奏楽部を指導している先生方の状況

③ 地域や学校との連携

国のとり組み

H31.3 「学校における働き方改革に関する
取組の徹底」文科省
⇒部活動の地域移行

スポーツ庁・文化庁

学校部活動・地域クラブ活動の両方

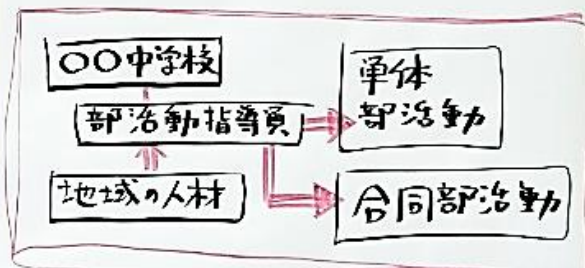
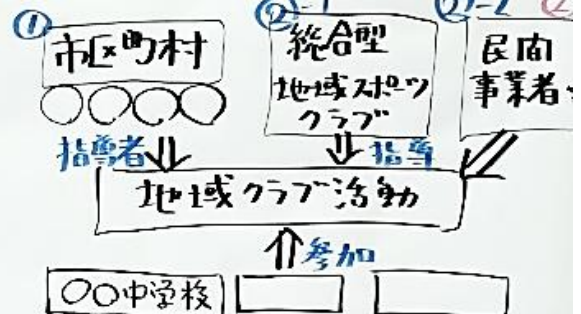
休日の部活動の地域移行

→R7年度末に「改革推進期間」

音楽と共に
まちと響きあう

那覇中部活動指導員
3回～4回

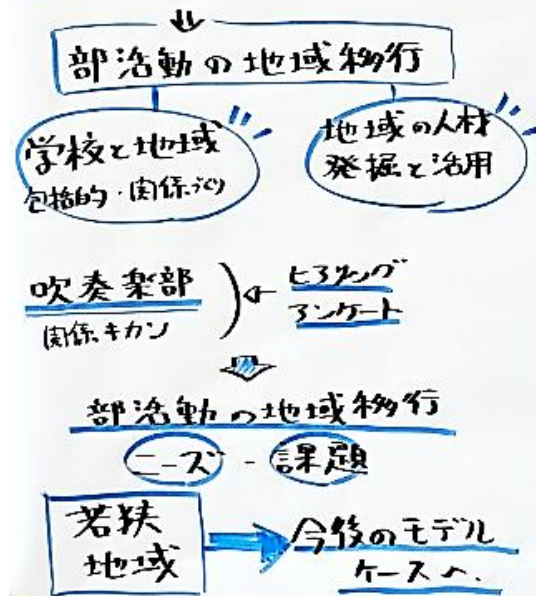
③ どんな環境の
子でもなりたい
体験キカイの
保障を



事業の趣旨・目的

子どもたちの体験保障

教職員の負担軽減



仲宗根 司 さん

那珂市 学校教育課 副参事

那珂市の現状

17校 8,643名(生徒) 今後入っていく
イメージできるか...

運動部活動 4,430人(51.3%)
男 57%, 女 44%

文化部活動 512人(5.9%)
男 1.74%, 女 10.32%

<3カート>

先生 負担感 ~ やりがい

<意見交換会> R6.3月

先生による指導

スポーツ少年団 - 指導者資格

小のとき
中のとき

→ (他校との合同部活動
近隣校との拠点校方式による部活動) → 検討中

當間 保 さん

与那原中学校 校長、沖縄県音楽教育研究会 会長

学校教育における部活動

② 「教育課程外」の活動

③ しかし、教育的意義④ ⇒ 教育活動の一環
として計画・実施

地域の人の協力

各種団体との連携

教育課程との関連
図られるよう留意

持続可能な運営体制

次の学習指導要領改定で、
部活動のとりかかり 変わる可能性

学校の教育活動

教育課程

教育外課程
(学校が計画) 部活動

検討中

高橋 涼子 さん

那覇中学校 2年 吹奏楽部 部長

吹奏楽部 (中) 部長

テナーサクソ

13人 (1~2年) 少ない方

人よえた方がいばるがる

他校との合同はまだない

放課後 2時間 火・水・木・金・土

ナハ中音楽室 / ジョコジャズでもたまに

「部活動の地域移行」あまりきかない

人数ふえたら、たのしみ

学校代表の意識がよわくならないか
心配

いろんな曲やってみたい

若さ地域文化祭

年々いかさ感じない、でこ感じない

多世代でやること

宮城 政也 さん

琉球大学教育学部 教授

日本のスポーツ 戦後、こい はっよう

日本の教育に固執しすぎた

指導者

働き方

イザンにきた

ボランティア
でやっていた

海外は有償
市場

スポーツ
文化) 活動

将来的に
ゆるやかに
教育外へ

将来的に
「部活動」という言葉
なくなっていく

健全化という
課題はあっているが

うるま市 - ふるさと納税活用している
前向きな意見出はじめてる

指導者

技術

教育的要素
残る

指導者研修 となっていくだろう

強化・勝利
競技力向上

生涯学習

てきせつな指導
なお筋つ

10年後 国スポ開催 (沖縄)

出口・キャリア

企業

選手へのリスペクト
応援する文化

文化系活動の方が
リスペクトされる

マインドをかえる
よきカイ

保つ者が力を
入れすぎている

スポーツに人生
かけるべきでない

生活の一部として
スポーツをみている

指導者が課題
発掘し
活かせる
環境

場の
コーディネート

エリを正して
いかなければ
ならない

宮城 潤 さん

那覇市若狭公民館 館長

19年目

3-1部 (コロナ禍はじめて)

部活動のような地域活動

中学生

ホントは美術部入りた
けど、なから他の部活

先生おしえた内容

と子どもたちやった内容のききあ

3-1部 中学校へ報告している

子どもたち同士のトラブル

対処のしかたあったか

子どもにかかわるキカン集まる場

2ヶ月1回 学校も

関係性づくり 情報交換

ジャズなど子どもたちからやること

地域の人はいれい

下の子たち→ロールモデルみれる

満井 洋輔 さん

沖縄タイムス社 記者

琉球

年間費用

「地域移行」という言葉のいかがめしさ
ひとくいつにはできない。論点が多い

部活のよさ → 先生との関係
教育

クラブチーム ← 部活 (サッカー)

クラブが部活のよさをとり入れている
(関東けん)



✎ 高橋

まとめ

なは中 美術部 ないからねへ
という声もきく

⑨

友達とも共有していくこと大事

✎ 上原 (論点提供)

子どもたちの体験保障

満足感も (楽しむことか、つづめざるまで)

3-ディスター-

コミュニティスクールの議論もあわせて

✎ 平良 (司令)

論点 間が多い.

子どもたちの選択服へしてはけない

音楽系とくゆうの課題

はしりながら

先生の負担軽減

指導者のたचितる確保

教育投資の合意

地域の自治は
つみのこし

➤ 今後のアプローチの方向性（提案）

1) 事業の目指す方向性

あらゆる境遇の子どもが選択できることを保障できる状態を目指したい。特にこの事業では、子どもの学ぶ権利・体験を選択する権利を大切にしたい。

2) 地域移行ではなく「地域展開・連携」ハードとしての学校と教育というソフトの意味

この命題は学校から地域への「移行」ではない。特に土地の狭い那覇市にとって学校は大きい資源であるため、その施設利用は継続していくのが当然だと考える。また、それぞれの個別の教育的効果、人間としての成長を個別で評価する教育者とスキルを見る指導者には役割の違いがある。教育的視点をなくすと地域移行は意味を半分失ってしまう。この視点からも部活を学校から切り離すべきではなく展開と連携を強めていくべきである。

3) 地域の理解を深める場づくりを

現状では、地域移行（連携・展開）は地域にとってもチャンスなはずだが、地域側の議論が足りておらず、どういう機会なのか地域がイメージできていない。まずは、自分事だとまだ思っていない地域へ啓発かねた調査等で刺激を与えたい。すでにいくつかの部活動はなくなり、新設も難しいという現況を地域に伝え、そこに反応する方々が支援者になるのではと考えアプローチしたい。

4) 事業を支えるための資源・資金の考え方

これまで教師のハードワークによって維持されてきた部活動の運営コストを再評価し、どのような資金で支えるかを議論したい。月謝等受益者負担制度を取る場合、月謝を払えない子どもをどうケアし体験の保障をするのか。序盤から設計が必要。

■参加者によるサブセッション

若狭地域における部活動の地域移行を考える地域円卓会議

(参加者記載の原文をそのまま記載している為、事実と異なることがあります。グループ毎に①、②・・・と記載)

①

- ・ 部活動の地域移行
- ・ 生徒数 8,600/17 中学校
- ・ 加入率(運動部 57→51/%、文化系 7.5→5.9%)
- ・ 教育の働き方改革
- ・ クラブチーム増加
- ・ 同好会
- ・ 多様化
- ・ キングス、野球 サッカー
- ・ 那覇国際高校 1 年映画研究部
- ・ 那覇国際高校吹奏楽部 30 人
- ・ 上山中吹奏楽部 12 人
- ・ 教員休職
- ・ 指導者探し苦労した
- ・ 楽器一人しかいない
- ・ 指導できる人いない
- ・ 天妃小 3,500 円/月
- ・ 上山中バスケットクラブチーム (お金・送迎)
- ・ C-BRASS 指導者恵まれている オーディションあり
- ・ 親ができない子供さんは地域移行?
- ・ 部活動指導員
- ・ 指導員 保護者でいた
- ・ 謝金高い
- ・ 上山中マーチングの積立金 (100 万)
- ・ 運営の責任者
- ・ 保護者一地域

②

- ・ 学校が、個性、スキルを磨く場であるべき
- ・ 部活動でコミュニケーションの場、中学校の時に不登校の経験から部活動の目的、意義を伝えたい

- ・ 離島の部活動派遣費が負担で参加ができない＝人権問題

受け皿も人である

- ・ 稼ぐ人材の育成＝部活動の経験
- ・ 部活動≠経済(家庭の状況)

③

- ・ 部活って大変!!
- ・ 親も大変
- ・ 地域クラブ感謝しながら活動
- ・ ↑↑↑ 想い(地域の方々、OB、、、)
- ・ 場の提供
- ・ 体験(スタンプラリー)
- ・ もっとやりたい、専門的に

④

- ・ スポーツ系保護者が過熱しがち
- ・ 社会・学校教育のはざまの問題
- ・ 志高くても報酬の問題は別・持続化
- ・ 全体を支えるしくみ
- ・ 地域全体の生涯教育
- ・ カバー範囲が広すぎ⇒進まない所をムリくり
- ・ 学校でやる負担少、別会場は負担増
- ・ 無償の流れ
- ・ 親にも話をきいてほしい
- ・ 送迎や敷地内での安心感
- ・ 保護者会や外とかかわることの負担感
- ・ 大人は団決の必要有?
- ・ 子の才能があっても経済的負担がムリ
- ・ 大学をまきこんだ仕組、(サッカー&ドリル)
- ・ リスペクトできる大人の存在が子どもたちの生きやすさ

⑤

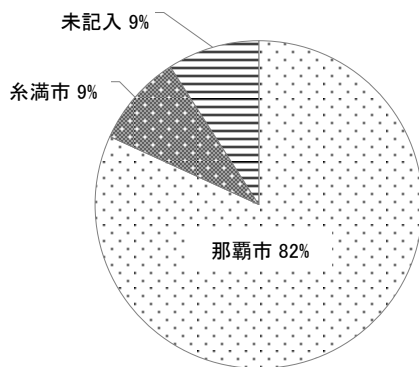
- ・ 先生、顧問はいないといけないのか
- ・ 業務の外部化 部活まるごとなのか?
- ・ 学校事務員を増やす方がよいのでは?
- ・ 生徒の教育的指導等の方が、スキルの指導より求められているので、学校がやった方がよくない?
- ・ 子どもを安心して預けられる参加できる場になるとよい
- ・ 楽しむ場がベース
- ・ 自発性⇄同調圧
地域に移行すると身体活動量の確保が難しくなる可能性(担保できるか?)

若狭地域における部活動の地域移行を考える地域円卓会議 参加者アンケート集計

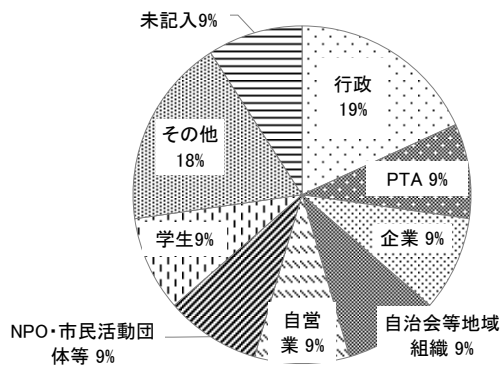
◆概要

- ・日時：2024年10月27日（日）14:00-17:00
- ・場所：那覇市若狭公民館 3階ホール
- ・着席者：9名（論点提供者、司会、記録者含む）
- ・参加者：29名（学校関係者、校区まち協、自治会等）
（アンケート回収11名、回収率37%）

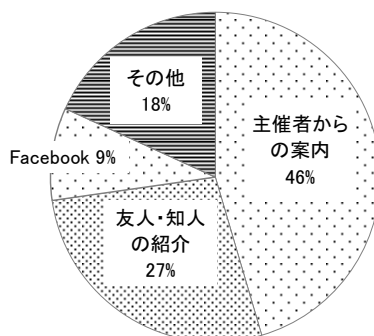
1. どちらから？



2. 所属



3. 円卓会議はどのように知ったか



4. 満足度

平均：4.7（5点中）

5. 満足	4. 概ね満足	3. 普通	2. あまり満足していない	1. 不満足
8名	3名	0名	0名	0名

5. 満足度の理由

（5. 満足）

- ・それぞれの立場での意見や活動内容を学ぶことができた
- ・部活についての理解が深まる内容が多くてよかった
- ・中学生の代表として高橋さんの当事者としての意見を聞くことができてよかった
- ・たくさんの方の意見を聞くことができた
- ・スポーツ系の取組みの具体例を知ることができ、文科系の取組みに向けての参考になった
- ・今回行ったような活動をこれまでにほとんど行っていたことがなかったため
- ・部活動をめぐる問題点を知った
- ・遅れての参加でしたが、子どもたちがやりたい気持ちを大人たちが見守ってほしいと思います

（4. 概ね満足）

- ・様々な立場の方が視点を変えて課題を取り上げて意見交換できる場になっていたの、考える機会となり勉強になりました
- ・多角的な意見が聞けてよかった
- ・まだまだはじまりの話。この点でいうと“モヤッ”とする部分が残っています

6. 印象に残った事や良いアイデア

- ・中学生の生徒をメンバーに入れて議論を進めたことがとてもよかったです。活動の中心

は子どもたちなので、子どもの考えや意見、これからの部活動のあり方について一緒に考えていくことがとても重要だと思います。

- ・ 他校との合同部活動など
- ・ スポーツや文化系教育が学校から外に胃呼応の方向性が現実的というお話。部活動に限らず教育自体がという国の方向性には違和感があります。学校以外に文化的体験が期待できない家庭環境の子が心配
- ・ 多世代で部活動のようなことをするのは、世代別での大会とかがあって難しいという話が印象に残った
- ・ 地域の人に見えるか、コーディネーターの発掘
- ・ 地域展開という言葉から学校の指導内容をまるごと地域に投げるのではなく、協働の視点が重要ということがわかりました
- ・ 学校から出すことが先に決まっている感じが不安。メリット・デメリットが地域や学校、部活動によっても違うので、地域移行の是非みたいなのは大きくくくって話せないと感じた。選択肢として学校で続ける、地域に移す、機能を一部移すなど検討必要
- ・ 学校教育と社会教育のはざま、指導者の目線、キャリア設計についても考えていきたい

7. 会議運営に関しての意見、感想

- ・ 会場の人達とも意見交換する時間もありとてもよい運営だと思います。本日参加させていただきありがとうございます
- ・ 最後のまとめ方、とてもわかりやすく全体が把握できました。ありがとうございました
- ・ オンタイムでわかりやすかったです！ありがとうございました！
- ・ スムーズに会議が進められていてよかったと思います

(写真) 会場の様子



部活動の地域移行

生徒数 8,600 / 17中学校

加入率 (運動部 57 → 51%
文化系 7.5 → 5.9%)

教育の側の方改革 多様化

クラブチーム増加 モータース
同好会 野球部
サッカー

十・四1年 映画研究部

吹奏部 上山中 おもしろ部 12人

教員休職

指導者探し苦労した

30% 楽器一人しかいない 指導できない人いない

天虹1. 3.5% / 月

上山中 バスケ → クラッシュ

C-BRASS あま・透郎

指導者 恵まれている

オーディションあり

親で主幹の子供は
地域移行?

部活動指導員

3

指導員 保つ者ではない
アサキ カツシズ
アサキ イトコ

謝金高..

上山中2-47の指導員
いる

運営の責任者

保つ者 - 地域

。学校が個性・スキルを磨く場であるべき。

。部活動でコミュニケーションの場。

中学校の時に不登校の経験から
部活動の目的・意義を伝えている...

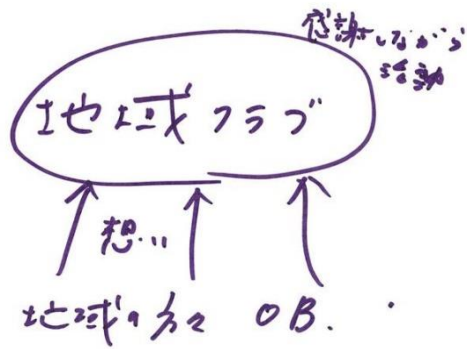
。離島の部活動派遣量が負担で
参加できない = 人権問題

。受け皿も人である。

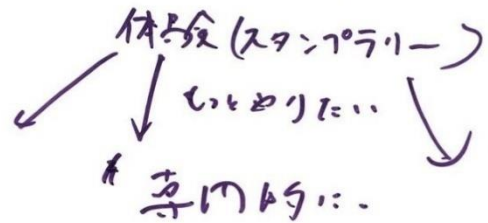
。稼ぐ人材の育成 = 部活動の経験

。部活動 ≠ 経済 (家庭状況)

部活って大変!!
親も大変.



場の提供.



先生、顧問は いないと11中なの
業務の外部化
部活まるごとなのかな?
学校も 量を増やす方がよいのでは?

生徒の教育的な指導の
方が、スールの指導を求められていて
のび、学校がだええかよくない?

子どもを安心して預けられる
参加できる場になるとよい。
楽しむ場がベース
自発性 ↔ 同調圧力

地域に活動すると
身体活動量の確保
が難しくなる可能性。
(担保できるか?)

- ・スポーツ系 保護者がかかわりしからず
- ・社会・学校教育のはざまの問題点
- ・志高くても西州牧の問題点は別・(それぞれ)
- ・全体を支えるしくみ

- ・地域全体の生涯教育
- ・カバ-はいいが広すぎ⇒進捗が戸惑いあり
- ・学校でやる負担(少) 別会場は負担(増)
- ・無償の流れ
- ・親にも話をきいてほしい

- ・歓迎やほち内でのいるお人しん感
- ・ほごいや会や外とサカサるごの負担感
- ・大人は団決のひっよう有?
- ・うのさ、のうかあてもハさ、白々アアケムリ
- ・大学をまきこんだは組、(ヤッカ-Qドゥル)
- ・リスアワトでる大人のてんざいが子とまたの
生きざす